



山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和5年6月6日発行

第6号 校長 武藤 雅雄

6月5日 全校朝会『いじめについて考える』

校長講話（抜粋） 武藤 雅雄

今日はいじめについて一緒に考えましょう。次のことは、「いじめをしてよい理由」になるかどうか、皆さん考えてみてください。

- 前にいじめられていた。だからいじめてもよい。お互い様。
- いじめられている方にも原因がある。だからいじめてもよい。
- 先にやったのはあっちの方だ。だから仕返しにいじめてもよい。

どれもいじめをしてよい理由にはなりません。いじめの定義は、『いじめられている生徒が、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じていること』です。

では、どんないじめが多いのでしょうか。（右図で第4位からランキング順に紹介）いじめられている人が精神的な苦痛を感じればいじめです。特にズボン下ろしは重大ないじめです。ズボン下ろしが原因で、自ら命を絶った生徒が過去にいたのです。

どんないじめが多いのか

- 1位 冷やかし・からかい
- 2位 ぶつかる・たたく
- 3位 仲間はずれ・無視
- 4位 SNSでの誹謗・中傷

では、山の下中学校のいじめの現状はどうでしょうか。一緒に見てみましょう。令和5年度になり2か月が過ぎました。この間、1年生4件。2年生0件。3年生2件です。

山中のいじめ発生件数

| | R5 | R4 | R3 |
|----|----|-----|-----|
| 1年 | 4件 | 18件 | 20件 |
| 2年 | 0件 | 10件 | |
| 3年 | 2件 | | |

では、昨年度はどうだったのでしょうか。

今の2年生が1年生のときは18件でした。でも今は0件です。素晴らしいですね。次に、今の3年生はどうでしょうか。2年生のときは、10件ありました。さらに1年生のときは20件もあったのです。みんなの成長が分かりますね。

いじめには重大事態が定められています。「生命、心身、財産に重大な被害がある場合」「相当の期間、学校を休まなければならない場合」の2つです。重大事態は、先生方だけで解決できないこともあります。だから、教育委員会や警察、児童相談所など、関係機関と連携して対応することもあります。

ところで、いじめはダメだと知っているのに、なぜいじめが起きるのでしょうか。シンキング・エラーという言葉があります。シンキング・エラーとは、

「あれは遊びだ」「みんながやっている」

「相手も喜んでいる」「注意しただけだ」と、

自分の行為を言い訳し、正当化することです。

いじめが起きた場合、山中の先生方の対応は次の通りです。初めに、いじめられている生徒の話丁寧聞き。事実とともに、どんな気持ちだったか、これからどうしていきたいかを聞き。その話をもとに、先生方は作戦会議を行い、どうやって解決するか相談します。

その後、先生方はチームで対応します。いじめた人、いじめを見ていた人から話を聞き、「いつ、どこで、誰が誰を、どのように、何回くらいいじめていたか」を調べます。いじめをしていた生徒には、なぜそんなことをしたのか、何が間違えていたのかを振り返らせて、これからどうしたらいいかを、先生方と一緒に考えます。みんなが安心して学校生活を送ることができるように、いじめられている人にも、いじている人にも、親身に対応して解決します。

だから、いじめられている人、いじめを見た人は、先生や親など大人に相談してください。相談できない人は、悩みごとアンケートに書いてください。見て見ぬふりはしません。

先生方も一緒に考え、いじめゼロの山中を目指します。各学級がいじめゼロの取組を発表しました。生徒会スローガン「一期一笑」のように、毎日を大切に、笑顔で学校生活を過ごせる山の下中学校をみんなで創っていきましょう。

シンキング・エラー

- あれは遊びだ
- みんながやっている
- 相手も喜んでいる
- 注意しただけだ

山中の先生方の対応は

- 1 生徒の話を丁寧に聞く
- 2 先生方が作戦会議
- 3 先生方がチームで対応
- 4 間違いの振り返り

いじめられた人・見た人

- 1 大人に相談する
- 2 悩みアンケートに書く
- ※ 見て見ぬふりはしません
- ※ いじめる人も助けます